



たなぐら

議会だより

第134号

平成23年
3月定例会

平成23年5月15日



災害に強い町づくりに向けて ……	2
一般質問を取り下げ、被災状況を調査	7
議会活動の状況を報告 ……	9

はい! ポーズ!
(棚倉保育園第1園舎)

ふくしま! くりに向けて

平成23年度
予算成立

3月定例会を、3月10日から22日までの13日間の会期で開きました。
条例の制定や補正予算、平成23年度当初予算、追加議案について審議し、提案されたすべての議案を原案のとおり可決・同意しました。



子どもたちの明るい未来のために

(1万円未満切捨て)

会計名		23年度予算額	22年度予算額	比較	
一	一般会計	50億5,800万円	50億1,300万円	4,500万円	
特別会計	国民健康保険	14億9,678万円	14億8,858万円	820万円	
	後期高齢者医療	1億1,785万円	1億1,676万円	109万円	
	介護保険	9億2,158万円	9億1,716万円	442万円	
	簡易水道事業	3,887万円	4,024万円	△137万円	
	公共下水道事業	3億4,480万円	3億3,821万円	659万円	
	農業集落排水事業	6,395万円	6,455万円	△60万円	
	宅地用地取得造成事業	3万円	3万円	0円	
	霊園整備事業	199万円	63万円	136万円	
上水道事業会計	収益的収支	収入	4億237万円	4億186万円	51万円
		支出	3億8,465万円	3億8,178万円	287万円
	資本的収支	収入	6,881万円	9,958万円	△3,077万円
		支出	2億4,495万円	2億6,894万円	△2,399万円

総額で86億7千万円
引き続き厳しい財政状況の中、国・県補助金の確保や歳出削減に努め、第五次振興計画に掲げた諸施策を積極的に実施する編成となっています。

平成23年度予算

がんばろう 災害に強い町づ



さらさら子育てしやすい環境に

23年度の 主な事業を ピックアップ

子宮頸がん・ヒブ 予防接種に助成

中学生で接種を希望する全女生徒を対象に、子宮頸がん予防ワクチン接種と、乳幼児を対象にヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種も助成を行ないます。

これらのワクチン接種費用については、個人負担額の九割を助成します。

ファミリーサポート センター開設

子育ての援助を受けたい人と、子育ての援助をできる人が会員となり、地域の中で会員同士がお互いに助け合う組織づくりとしてファミリーサポートセンターを開設。仕事と育児を両立するための環境整備を図りながら子育てを支援します。



近津児童クラブ開設

棚倉・杜川児童クラブに続き、新たに近津児童クラブが開設され、安心して就労できる子育て環境の充実に努めます。

ルネサンス棚倉の 客室内改装

客室テレビの入れ替え、ホテル棟客室内の改装等を実施し、新たな顧客獲得につなげ営業の強化を図ります。

公営住宅等の 長寿命化計画

既存住宅の改修、建替え、廃止、新設等を含めた総合的な公営住宅の活用を図るため、長寿命化計画に取組めます。

車堀の改修整備

中心市街地の西側を流れる車堀の改修整備に取り組み、良好な河川環境の維持と雨水排水対策を進めます。

橋梁の長寿命化・ 修繕計画策定

町道に架かる橋梁の点検と修繕計画に取組めます。

社会教育複合施設 建設に向け着手

図書館、多目的集会施設、歴史民俗資料館等の機能を備えた施設を計画しており、今年度は施設建設用地を購入します。

完成は、平成二十五年度内の予定です。

22年度補正予算

(原案可決)

国の補正予算を活用し、23年度へ繰り越して実施する主な事業です。

(1万円未満切り捨て)

会計名		補正額	補正後の予算額	
一般会計		3億7,130万円	56億5,147万円	
特別会計	国民健康保険	2,858万円	15億347万円	
	後期高齢者医療	△51万円	1億1,849万円	
	老人保健	△47万円	50万円	
	介護保険	△1,100万円	9億3,350万円	
	簡易水道事業	△96万円	4,140万円	
	公共下水道事業	△2,141万円	3億1,733万円	
	農業集落排水事業	△92万円	6,500万円	
上水道事業	収益的収支	収入	△384万円	3億9,792万円
		支出	183万円	3億8,507万円
	資本的収支	支出	81万円	2億7,047万円

(※△は減額表示)

◎ ルネサンス棚倉施設改修事業

◇ **8,000万円**

ルネサンス棚倉テニスコートの改修工事を行います。



改修が待たれるテニスコート

◎ 消費生活啓発推進事業

◇ **1,403万円**

電光掲示板を2ヵ所に設置します。

◎ 無線システム普及支援事業

◇ **1,018万円**

地上デジタルテレビ放送の難視聴地域において、共聴施設を整備しようとする共聴組合に対する補助金です。

◎ 棚倉中学校屋内運動場・柔剣道場耐震補強改修事業

◇ **1億4,870万円**

棚倉中学校の屋内運動場と柔剣道場を補強し、耐震化を図ります。



安心して部活動ができるように改修

◎ 棚倉小学校屋内運動場耐震補強改修事業

◇ **7,630万円**

棚倉小学校の屋内運動場を補強し、耐震化を図ります。

◎ 図書館図書購入事業

◇ **700万円**

新刊図書、参考図書等を購入し、図書の充実に努めます。



◎ プラネタリウムデジタルコンテンツ購入事業

◇ **430万円**

プラネタリウムで投影する新しいソフトを購入します。

議案・予算審査

(3月16日～17日)

平成二十三年の新年度予算案は、昨年同様、予算特別委員会が設置され、審査されました。

また、二十三年度条例の制定、改正等の議案については、総務常任委員会と建設経済常任委員会に付託され審査を行いました。

予算特別委員会及び、各常任委員会に提出された議案をすべて原案のとおり可決すべきものと決定され、最終日の本会議において、審査結果を各委員長が報告しました。



予算案を慎重に審議

討論の末に **可決**

平成23年度棚倉町一般会計予算の原案をめぐる
討論が行なわれ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

反対
(1人)

鈴木 政夫 議員

新年度予算には、億三千七百万円の水源対策費が計上されているが、これは、白河地方水企業団への負担金で毎年支出されている。町内河川からの伏流水の活用が最善であり、早急な軌道修正が求められている。

雇用の確保では、工場用地を提供したが、いまだに企業が建設されていないので、町の活力にとっても重大な問題である。

また、定住促進のため町営住宅の整備が必要であるが、新規建設はなく、既存住宅の修繕予算も十分な確保がされていない。

住宅リフォーム助成制度は、景気対策として注目されているが、当町の予算には計上されていない。

寿恵園では待機者があり、施設の増新築も求められているが、予算には反映されていない。

以上の点を指摘し、反対討論とする。

賛成
(13人)

大相 守 議員

歳入においては、景気低迷により町税全般の落ち込みが見られるが、地方交付税や国県の補助金を有効活用し、積極的な財源の確保に努め、町財政健全化に努力をしている。

歳出においては、町の重点施策である少子化対策・子育て支援策の充実が図られており、新たに全中学生を対象とした子宮頸がんワクチンの予防接種助成が盛り込まれており、子育て支援を一層充実させようとしている。

また、継続的に実施する学校耐震改修工事、更には、社会基盤の整備において、有利な財源を確保し、町道整備や公共下水道整備、農地水環境保全向上対策などについても、昨年に引き続き積極的に取組もうとしている。

厳しい経済情勢の中、町政の継続的な発展を目指す予算案は、適切なものと考え賛成討論とする。

追加提出補正予算

三月十一日に発生した、東日本大震災による公共施設、道路等の災害復旧や、災害救助等のための補正予算です。
平成二十二年一般会計追加補正予算の主なものは次のとおりです。

- ◎学校・社会教育施設災害施設復旧費 4,413万円
- ◎農林土木施設災害復旧費 2,180万円
- ◎その他公共施設・公用施設災害復旧費 1,247万円
- ◎災害救助費 972万円
- ◎基金会計への積立額 △8,700万円
(※△は減額表示)



外壁や窓ガラスが破損した棚倉幼稚園



観覧席に採光窓が落下した総合体育館

◇ 3月追加補正予算の状況

(1万円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	112万円	56億5,259万円
上水道事業 (収益的支出)	414万円	3億8,921万円

人事案件

◎棚倉町副町長の選任

前棚倉町役場総務課長である鈴木敏光氏を選任することに同意しました。
任期は、平成二十三年四月一日から四年間です。



鈴木 敏光さん(流)

◎人権擁護委員候補者の推薦

候補者の推薦

菅原海淳氏を推薦することに同意しました。
任期は、平成二十三年七月一日から三年間です。



菅原 海淳さん(花園)

請願

次の請願を所管の建設経済常任委員会が審査した結果、意見書として採択すべきものと決定いたしました。

◎「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願」

■ 請願者

日本労働組合総連合会

■ 紹介議員
渡辺 義夫

福島県連合会東白川地区連合

■ 審査結果
採 択

議長 小野 正

陳情

◎「別名に化けた外国人参政権への警戒を求める陳情」

■ 提出者 福島市 星野 節子

意見書提出

次の意見書の提出については、議会において議決され、衆議院議長をはじめとした関係機関に提出されました。

◎TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加に反対を求める意見書

■ 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣。

◎「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」

■ 提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島県労働局長。

一般質問を取り下げ、被災状況を調査

一般質問は、平成23年3月15日に予定しておりましたが、東北地方太平洋沖地震による公共施設の被災状況調査を優先し、通告者全員が質問を取り下げられましたので一般質問は行なわれませんでした。予定していた「一般質問通告」の内容については以下のとおりです。

【一般質問通告一覧表】

登壇順位	議席番号	氏名	質問事項
1	7	角田悦男	1. 特別養護老人ホーム寿恵園について 2. 保育園の入所状況について 3. ルネサンス棚倉について
2	8	宮川政夫	1. 小学校における英語授業の対応について 2. 消防機能の拡充施策について
3	10	和知良則	1. 山岡小学校の統合について 2. 幼稚園預かり保育について 3. 有害鳥獣被害対策について
4	11	金澤義行	1. 環境美化と河川焼却について 2. 国道桃木田地内の交差点の改良と歩道の整備について
5	14	松本英一	1. 水企業団への施設移管は計画の通り実施するのか 2. 多重債務者の過払い金の請求相談支援をただす
6	15	鈴木政夫	1. 特老施設の現状と増床問題を問う 2. 県道山本不動線の歩道整備促進をただす 3. 再び住宅リフォーム助成制度について 4. 町営住宅の整備と増築問題をただす 5. イノシシによる被害の減少を求めて
7	2	佐川裕一	1. 災害時要援護者に対する町の防災計画について 2. 老夫婦世帯、一人暮らしのお年寄りに対する日頃の安否確認・生活支援対策について 3. 県の289号国道整備計画と黒磯棚倉線整備について 4. JR水郡線踏み切り安全対策について
8	3	藤田智之	1. 農山村直売所の建設補助について 2. 行政改革における公用車の削減はどの様に進んでいるか 3. 「小学校英語必修化」について
9	4	大楢守	1. 食育の取り組みについて 2. 第5次棚倉町振興計画の実施計画(23年度~25年度)について 3. 棚倉城跡の今後について

東北地方太平洋沖地震による 公共施設被災状況視察

平成二十三年三月十一日に起きた、観測史上最大の巨大地震により被災した町内公共施設や町道など、十七箇所を視察調査を行いました。



照明器具がぶら下がる中央公民館



漆喰壁が落下した土蔵



棚倉幼稚園の被災に驚く議員団



亀裂・陥没した天王内地内の町道



赤館公園の地割れ

浜通りの被災者へ 義援金を贈る

東北地方太平洋沖地震による津波や原子力発電所事故により、浜通り地区では甚大な被害が発生しました。

棚倉町議会は「少しでも役に立ちたい。」との思いから、浜通りの被災者を支援するため、日本赤十字棚倉町分区分区を通じて義援金（十万円）を贈りました。



佐藤議長（中央）と照沼副議長（左）が、日赤棚倉町分区分長の藤田町長へ義援金を寄託。

● 定例会・臨時会

会 議	開 会	閉 会	会 期	傍聴者数	一般質問	
					登壇人数	質問件数
第1回(定例会)	3月10日	3月19日	10	22	7	20
第2回(臨時会)	5月17日	5月17日	1	3	—	—
第3回(定例会)	6月9日	6月11日	3	66	8	26
第4回(定例会)	9月14日	9月17日	4	43	6	19
第5回(臨時会)	11月25日	11月25日	1	2	—	—
第6回(定例会)	12月15日	12月17日	3	100	7	20
合 計			22	236	28	85

● 提出議案数

種 類		件 数
町長提出	条 例	16
	予 算	38
	決 算	11
	専決処分	7
	その他事件	12
	計	84
議員提出	条 例	1
	意 見 書	3
	決 議	1
	そ の 他	4
	計	9



平成22年12月定例会

● 議長の会議等出席状況

内 容	件 数
会議・総会	44件
式典・大会	16件
陳情・要望	5件
研 修	3件
そ の 他	59件
合 計	127件

● 委員会等開催状況

区 分	委 員 会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	1
	厚生文教常任委員会	1
	建設経済常任委員会	1
	広報編集常任委員会	16
	議会運営委員会	5
	特別委員会	7
	議員全員協議会	7

● 参加した研修会

- ・ 5/18～19 第35回町村議会議長・副議長研修会(東京)
- ・ 6/29 町村議会広報研修会(郡山市)
- ・ 7/7～9 常任委員会他町村行政調査(石川県・富山県)
- ・ 8/24 町村議会正副議長・事務局長研修会(福島市)
- ・ 8/30～31 平成22年度東白衛生組合先進地視察研修(北海道)
- ・ 10/14～15 議会運営委員会所管事務調査(宮城県)
- ・ 10/25 町村議会議員研修会(郡山市)
- ・ 11/11 白河地方町村議会議員講座(白河市)
- ・ 11/17～18 東白川地方町村議会議長会地域開発調査研究研修(群馬県)

議会活動の状況を報告します

(平成22年1月1日～12月31日)

「議員年金制度」に廃止予定

地方議会議員年金制度については、昨今の厳しい年金財政の状況を踏まえ、平成二十三年六月一日をもって制度が廃止されることになり、廃止措置を講ずる法律案が、平成二十三年三月十一日に閣議決定、四月一日に国会へ提出され現在審議中です。

なお、制度廃止に伴い、現職議員に対する納付掛金の取り扱いについては次のとおりです。

① 議員在職十二年以上の場合

議員共済掛金及び特別掛金総額の八十%の掛金返納か、制度廃止前の法律による年金給付のいずれかを選択できます。

② 議員在職十二年未満の場合

議員共済掛金及び特別掛金総額の八十%の掛金が返納となります。

※年金給付を選択の場合は、実際の退職時（議員退職）に請求することになります。



議会を 傍聴しましょう

議会傍聴は、町政を知るよい機会です。

町の施策や議会の活動について、あなたの目や耳で確かめ、町政に参加しませんか。

6月定例議会日程のお知らせ(予定)

◎ 6月15日(水) 定例会開会・本会議
◎ 6月16日(木) 休会
◎ 6月17日(金) 一般質問・閉会

※正式日程は、6月8日開催予定の議会運営委員会にて協議されます。

お詫びと訂正

前号議会だより二三三号の紙面中、誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

◇十ページ上段
「国学者稲垣千類」のふりがな
正 「ちかい」
誤 「ちかえ」

編集後記

平成二十三年三月十一日、この日、町議会は棚倉中学校卒業式のため休会でしたが、その日の午後、観測史上最大の地震が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災で福島県は、地震による家屋倒壊と津波、更には原発事故発生による放射能の大気汚染、風評被害と四重苦の被災を受け、棚倉町もかつてない被災となりました。家屋や畑、農地などの被害だけでなく、農畜産物の出荷自粛や停止、更に観光業や旅館をはじめ、工業製品も差別される被害も出ており、福島県は存亡の危機に立たされています。

一日も早い原発事故の収束と、被害に対する補償を強く求めるとともに、「福島に原発はいらない」と、県民の声を実現させるため頑張ります。

広報編集常任委員会
委員長 鈴木 政夫

広報編集 常任委員会

委員長 鈴木 政夫
副委員長 佐川 裕一
委員 大相 守
委員 鈴木 喜一
委員 宮川 政夫



EMS
JISQ14001:2004
登録番号 JSAE287



CM001

国際環境規格 ISO14001 取得